

やまきたまち 議会 だより

議会のおと

P 2～3…おしゃべりCafeがオープン

P 4～9…町のお金の使い途をチェック

P 10～19…9名の議員が町政を問う



河村城まつりに花を添える流鏝馬
河村城址保存会（関連記事は裏表紙に）

「おしゃべりCafe」が



防災

- ✧ 防災無線で、行事等の中止になる場合の放送が聞こえにくい。
- ✧ 災害時、避難所の運営がうまくできるか心配。訓練等を通じ、もっと防災意識の強化を。
- ✧ 備蓄倉庫は避難所の近くにあるのか。

旧山北体育館跡地

- ✧ 武道施設ができると聞いている。武道場は他にもある。必要ないのでは。
- ✧ 新築するのであれば、自治会会議、子どもの居場所など、地域コミュニティの機能を備えた施設にするべき。
- ✧ イベント開催などできるように、トイレや炊事場も必要では。
- ✧ 災害時の避難場所として、畳の部屋があると安心。
- ✧ 商店街には駐車場がない。この場所を利用することにより、商店街へ誘客できる配慮をしてほしい。
- ✧ 建てるのであれば、地域振興につながる施設でないと意味がない。結論を急がず、地域や町民と充分に協議を重ねてもらいたい。

山北体育館の跡地はどうなるの～？



交通

- ✧ 町内循環バスの利用者が少ない。このままでは、なくなってしまうのでは。
- ✧ 運転免許返納者への対策を。
- ✧ 開成町や南足柄市にも行ける公共交通体系を検討すべきだ。

議会はしっかり情報発信をして！



議会

- ✧ 議員定数問題については、もっと町民の声を聞くべき。
- ✧ 臨時会の開催は知らないことが多い。
- ✧ 過去、一般質問した後の検証や経過を広報誌等で知らせてほしい。
- ✧ 議会のネット配信をしてほしい。

オープンしました



空き家

- ✧ 空き家が増えて心配だ。
- ✧ 塀や壁が崩れそうなので危険対策を。



鳥獣被害

- ✧ ヤマビルが庭先まできており、ペットに付いていることもある。早急な対策を。
- ✧ 有害鳥獣を追い払うロケット花火の夜間使用は制限できないのか。

シカ・サル・イノシシ・ヤマビル
どうにかして！

地域・自治会

- ✧ 村雨地区工場跡地利用の住民説明を。
- ✧ 県立山北つぶらの公園の利活用を図っては。
- ✧ 簡保レクセンター計画跡地は景観がいい。足湯施設等の整備を進めては。
- ✧ 透間地区の山砂利採取の跡地利用についてよく検討してほしい。

みなさんからの「声」を大切に

やまきた町議会
おしゃべり Cafe

おしゃべりCafeは
毎月20日開催！

日時：11月20日(水)
13:30～15:30
場所：健康福祉センター
(ともしびショップ付近)
日時：12月20日(金)
13:30～16:00
場所：小田原百貨店山北店
(イトインコーナー付近)

※ 議員数名とお茶を飲みながら
おしゃべりしましょう！

議会では、より多くの町民の皆さまとの意見交換の場を増やすことを目的に「おしゃべりカフェ」をオープンしました。

議会や議員に対する日頃からの思いや疑問に感じていること、町の色々な課題など、皆さまと膝をつき合わせて、本音で語れる場として定着させていきたいと考えています。頂いたご意見を町づくりの課題として整理し、政策提言へつなげていきます。

また、町内の各種団体とも意見交換を進めています。今回は「山北町商工会女性部(有志)」と「山北商店振興会(有志)」との意見交換会を開催しました。

本紙面では、頂いたご意見の一部を抜粋してご紹介します。

質疑

決算審査

ここが聞きたい

平成30年度 一般会計歳出決算額 50億4895万円

第3回定例会のあらし
令和元年第3回定例会を9月5日から13日まで開催。

平成30年度の一般会計及び各特別会計・水道事業会計の決算を決算特別委員会（委員長児玉洋一）で審議した。主な質疑は以下の通り。
なお、一般質問に立った議員は9人であった。
（一般質問は、10ページから19ページに掲載）



児玉洋一 決算特別委員会委員長

町税収入未済額

回収状況は

町民税、固定資産税は、毎年不納欠損や収入未済額が多い。安易に不納欠損とならないように取り組んでいただきたい。

副町長 徴収が難しい状況もあるが、各課で連携して取り組んでいく。

地域振興 推進事業

町内循環バス

町内循環バスの山間部への延伸は検討したのか。

企画政策課長 庁内ワーキンググループ等で調査研究中である。
循環バスや福祉タクシー、路線バスなど全体的な考え方の中で今後判断していきたい。

ふるさと納税

減少要因は

ふるさと応援寄附金が減少した要因は。

商工観光課長 昨年11月に返礼品率の見直しを行ったため、お徳感が無くなったしまったことが要因と考えている。

本年7月からポータルサイト（インターネットの窓口）を増設し、申し込みしやすいようにした。また、体験型返礼品についても力を入れていきたい。

地域づくり 委員会開催事業

町政反映は

地域づくり委員会開催事業の実績は。
また、町政にどのように反映されたのか。

企画政策課長 山北地区ではホタルが生息する環境づくりを実施し、三保地区では、丹沢湖周辺で紅葉木の植栽を進めている。
これにより、町内外からの観光客が増えている。



汗を流して活動する向原滝ホタルの会

防災用品資機材 購入費助成

備蓄食料は

地区の集会所を避難所にすることを考えると、備蓄食料も助成対象とした方が効果的ではないか。

また、現在助成しているアナログの戸別受信機は今後どうなるのか。

総務防災課長 助成対象を防災備品としているため、備蓄食料は該当しない。

放置空き家 対策事業

現状は

放置空き家対策事業で、調査した中に危険な家屋があるのか。

環境課長 所有者と連絡が取れず、屋根のトタンの一部がはがれて危険、ということ町が対応したケースはある。

また、現時点で町が把握している廃屋は20件程あり、1件は所有者に連絡が取れ、草刈りを実施してもらった。今後放置されている空き家を特定空家に認定すること、法的効力により最終的には代執行まで行えるように準備をしていきたい。

また、現在の戸別受信機は、今後のデジタル化に伴い、新たな支援を検討していく。

塵芥処理費

回収プラの行き先は

塵芥処理費は人口減少に伴い減額となっている。回収したペットボトル・プラスチックが、どこに行き、何に再利用されているのか。

環境課長 トレーは厚木市の工場へ行き、プラ製品となり主に文房具に再利用される。

ペットボトルは静岡県掛川市の工場へ行き、ペレットに加工しポリエステル製品に再利用している。

プラスチック製容器は川崎市の工場へ行き、ケミカルリサイクルされ主にナイロン製品になる。

町では搬出している工場を年1回現地確認している。

鳥獣被害対策

防鹿柵の効果は

防鹿柵はどこに設置したのか。効果は。

農林課長 嵐地区に設置した防護柵に出入りをするために防鹿柵を7基設置した。柵を設置した箇所については鹿が進入できないが、完成まであと数年かかる予定であるため、未設置箇所からの進入は防げない状況である。

ヤマビル対策

効果は

駆除剤を撒くだけで効果があるか。

環境課長 駆除剤散布は、平成25年から取り組んでいる。ヤマビルは乾燥に弱いので、草刈り後に、駆除剤を撒くと効果的である。また、既に実施している地域からの情報では、塩カリも有効であるとのこと、駆除剤と併せ、塩カリの配布も検討している。

駆除剤の使用方法やヤマビルの生態等の情報について、引き続き周知していく。





外出支援サービス
 福祉課長 車両3台体制、利用回数延べ361回、登録者数は、約120人。多くが病院への利用であり、送迎の範囲は、小田原市、御殿場市などである。利便性の向上については今後、社会福祉協議会と調整をしていきたい。

外出支援サービス
 利便性は
 外出支援サービス事業の利用状況や、利便性向上に向けた取り組みは。

緊急通報サービス
 緊急通報サービス事業は人命を守るための有効な事業だと思いが、登録者が少ないのでは。

国民健康保険
 状況は
 平成30年度より国保制度が変わり、都道府県が運営主体となったが、状況は。また、不納欠損額及び収入未済額についてどう考えているか。



高齢者いきいきセンター（岸地区）の介護予防塾

介護保険

利用可能か
 介護保険料も国保会計と同じく不納欠損、未済額等がある。どのような取り組みをしているのか。

また、不納欠損の対象者は介護保険サービスの利用は可能か。

在宅医療・介護連携

課題・効果は
 在宅医療・介護連携推進事業における課題と、どのような効果があったのか。

低所得の方は普通徴収となり、徴収が困難ではあるが徴収努力はしていく。また、不納欠損の対象者もサービスの利用は可能だが、サービス利用時の自己負担割合が上がる。

保健健康課長 医療機関と医療人材不足や事業が浸透していないのが課題である。各医療機関や1市5町で部会を設け、情報共有を図りながら事業浸透に努めていきたい。

児童福祉費負担金

対策は

保育料無償化に伴い、今後利用希望が増えることが推測されるが対策は。また、延長保育や一時保育などの利用者の要望を聞いて、さらに良い制度にしていくなきで。

福祉課長 現在、保育士の募集をしているが、必要に応じて保育士を増やすなどの対応をしていく。

教育長 保護者のニーズが多様化する中、課題が増加しているため、乳幼児教育保育あり方基本方針を見直し、より良い制度にしていきたい。



定住総合対策事業

成果は

お試し住宅の利用状況とその成果は。また、ふるさと回帰フェア等の内容は。定住対策課長 平成30年度の利用状況は11件、22週間利用されており、その内2件が町内移住をされた。

ふるさと回帰フェアについては、全国規模で開催される国内最大級の移住イベントで、370の自治体に参加し移住定住を考えている方が各ブースで話を聞くイベントである。また、その他に県が開催している移住セミナーに、平成30年度は3回参加し、今年度2件お試し住宅を利用された。今後、移住相談や町のイベントなどで積極的にPR活動を行っていく。



避難行動要支援者支援

登録者は

災害発生時に避難支援や安否確認を行うことを目的とした大事な制度であるが、対象者や登録者は。

福祉課長 対象者は75歳以上、障害1級・2級、要介護3以上の方で、対象者数は約900人、登録者数は550人である。

災害時に有効なため、多くの方に登録していただけるよう、引き続き広報や民生委員児童委員などにより周知を図っていく。

議案等審議の結果

第3回臨時会（8月2日）

件名	月日	審議結果	件名	月日	審議結果
山北町保育園条例の一部を改正する条例の制定について	8月2日	可決 (賛成全員)	山北町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	8月2日	可決 (賛成全員)
山北町認定こども園条例の一部を改正する条例の制定について	8月2日	可決 (賛成全員)	令和元年度防災行政無線デジタル化屋外子局整備工事（共和・清水・三保地区）請負契約の締結について	8月2日	可決 (賛成全員)
山北町の幼稚園保育料徴収条例を廃止する条例の制定について	8月2日	可決 (賛成全員)			

第3回定例会（9月5日～13日）

件名	月日	審議結果	件名	月日	審議結果
平成30年度山北町一般会計歳入歳出決算認定について	9月13日	認定 (賛成全員)	令和元年度山北町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	9月9日	可決 (賛成全員)
平成30年度山北町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	9月13日	認定 (賛成全員)	令和元年度山北町災害給付見舞事業特別会計補正予算（第1号）	9月9日	可決 (賛成全員)
平成30年度山北町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	9月13日	認定 (賛成全員)	令和元年度山北町下水道事業特別会計補正予算（第1号）	9月9日	可決 (賛成全員)
平成30年度山北町災害給付見舞事業特別会計歳入歳出決算認定について	9月13日	認定 (賛成全員)	令和元年度山北町町設置型浄化槽事業特別会計補正予算（第1号）	9月9日	可決 (賛成全員)
平成30年度山北町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	9月13日	認定 (賛成全員)	令和元年度山北町山北財産区特別会計補正予算（第1号）	9月9日	可決 (賛成全員)
平成30年度山北町町設置型浄化槽事業特別会計歳入歳出決算認定について	9月13日	認定 (賛成全員)	令和元年度山北町共和財産区特別会計補正予算（第1号）	9月9日	可決 (賛成全員)
平成30年度山北町山北財産区特別会計歳入歳出決算認定について	9月13日	認定 (賛成全員)	令和元年度山北町三保財産区特別会計補正予算（第1号）	9月9日	可決 (賛成全員)
平成30年度山北町共和財産区特別会計歳入歳出決算認定について	9月13日	認定 (賛成全員)	令和元年度山北町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	9月9日	可決 (賛成全員)
平成30年度山北町三保財産区特別会計歳入歳出決算認定について	9月13日	認定 (賛成全員)	令和元年度山北町商品券特別会計補正予算（第1号）	9月9日	可決 (賛成全員)
平成30年度山北町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	9月13日	認定 (賛成全員)	山北町教育委員会教育長の任命について	9月13日	同意 (賛成全員)
平成30年度山北町商品券特別会計歳入歳出決算認定について	9月13日	認定 (賛成全員)	山北町教育委員会委員の任命について	9月13日	同意 (賛成全員)
平成30年度山北町水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	9月13日	可決・認定 (賛成全員)	山北町人権擁護委員の推薦について	9月13日	同意 (賛成全員)
平成30年度山北町の健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	9月6日	報告のみ	山北町山北財産区管理会委員の選任について	9月13日	同意 (賛成全員)
山北町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	9月9日	可決 (賛成全員)	山北町共和財産区管理会委員の選任について	9月13日	同意 (賛成全員)
令和元年度山北町一般会計補正予算（第2号）	9月9日	可決 (賛成全員)	山北町三保財産区管理会委員の選任について	9月13日	同意 (賛成全員)
令和元年度山北町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	9月9日	可決 (賛成全員)			

※山北町三保財産区管理会委員の選任について、児玉洋一議員は当事者のため採決に加われません。

体育施設建設等に向けた補正予算

～一般会計補正予算 3億378万円可決～

体育施設建設計画

業務委託料30万円の内容は？

体育施設建設計画策定業務委託料の中身は。

生涯学習課長 第2回目以降の検討委員会に向けて、検討委員の皆さんにイメージを持ってもらえるような施設のイメージ図の作成料である。

作成に当たって予算、施設の規模等は提示されないと、依頼される方も困ることになるのではないかと。

教育長 検討委員会での議論で一定の方向が見えてきた。設計の見積もりではないので、提示は考えていない。次回にはイメージ図を提示し、各団体に持ち帰ってもらうことでさらに意見を求めたい。



地方創生事業

認定後の計画は？

地方創生事業の人口ビジョン・総合戦略推進事業費が大きい額だと考えるが。

企画政策課長 予算編成期に国の方針が出ておらず、予算に盛り込むことができなかった。

副町長 政権の肝いりで華々しくスタートした事業であるが、最近ではなかなか話題にもならない。補助金についても全額から半額へと、減らされてきている現状である。

都市公園費

オリーブの植栽？

ぐみの木公園の修繕費と農業振興費の内容は。

都市整備課長 テニスコートの人芝化工事を計画している。

また、ぐみの木公園にオリーブ街路樹を整備する。

生涯学習センター

計画的な改修を？

生涯学習センターの空調機器更新工事は老朽化による更新か。



瀬戸 伸二 議員

問 若い世代の育成とまちづくりについて
答 こまめに情報発信を行うことが大切

問 若い世代に自分の住む町をどのように理解してもらうか、どのようにに町政に参加してもらうか。
答 毎年、小学6年生全員を対象に子ども議会を開催し、提案をもらい町政に反映している。山北中学校や山北高校の生徒会選挙の際、実際の選挙で使用する投票箱や記載台など貸し出し選挙啓発に努めている。
また、県教育委員会との連携協

町の高齢化。若い世代が政治に無関心で興味を持たない。このような状況の中、「町の目玉」となる施策が必要と思ひ質問する。
問 若い世代に町政に関心を持ってもらい、町を知ってもらうには、ホームページやSNSを活用することが一番有効な手法である。

力協定に基づき、山北高校で町の課題解決に向けた学びを行い、地域の活性化を実践できる地域人材の育成に資する取り組みを進めている。
問 東山北1000計画の中で、東山北周辺に町営駐車場や民間のコインパーキング等を誘致する計画はあるか。

答 具体的な計画はないが、駐車場の整備は、良好なまちづくりに繋がると考えられる。民間業者等から相談等があれば積極的に協力していく。

問 観光の目玉として、御殿場線沿線の市町と連携し、SLの御殿場線運行を誘致すべきと考える。
答 JR東海では一貫して、線路の全面改修が必要なこと、SLの免許をもった社員がいないことや、環境面からSL運行は現実的ではないという考えを変えておらず、SL運行は非常に難しい。

このため町では、D52の軌道延伸について実現していきたいと考えている。



東山北駅周辺



D52



御殿場線東山北駅

原稿は、質問者本人が作成しています。



一般質問は、町政に関して議員が質問を行い、提案や意見を述べ、時には是正を求め、新たな施策方針等を問うものです。
原稿は、質問議員が作成しています。

ページ	質 問 事 項	質 問 議 員
11	若い世代の育成とまちづくりについて	瀬戸 伸二
12	丹沢湖周辺の観光振興で町の活性化を	児玉 洋一
13	鳥獣被害対策と共にジビエの活用を	瀬戸 恵津子
14	1. 自転車保険への取り組みは 2. 選挙投票所入場券の改善を	熊澤 友子
15	1. 児童、生徒の居場所の確保がなされているか 2. 教職員の働き方改革でどう変わったのか	清水 明
16	新東名完成後の向原地区工事用道路の活用を	堀口 恵一
17	(仮称) 山北スマートインターチェンジ新設に伴う土地利用について	山崎 政司
18	「D52を活用した元気なまちづくり」について	和田 成功
19	東山北1000計画推進に伴う生活道路の整備について	遠藤 和秀



瀬戸 恵津子 議員

問 鳥獣被害対策と共にジビエの活用を 答 処理加工施設を考えている

当町は鳥獣被害対策としてシカやイノシシを獲り続けるが、ジビエとして活用は考えていない。鳥獣被害対策とジビエは、別だという見解であった。

しかし、シカやイノシシによって運ばれるヤマビル等の被害は拡大している。ヤマビル等の防止策は、観光客に対しても周知をされていると思うが、シカやイノシシの頭数削減をしなければ、根本的な解決策にならない。町民からも分布の広がり懸念が大きい。

そこでジビエとして食肉として活用する事により鳥獣被害削減と共に、地域が活性化すると考え質問する。

答 ジビエとしての活用以外の廃棄部分の処理が、コスト的に課題であったが、技術的な進歩により解決できると認識した。

食肉としての安全性は認証をすることにより確保できる。

猟友会の協力がなければできないので、打ち合わせを重ねていく。

問 課題についての認識は。

答 広域ではなく、上郡や秦野市などの近距離地域と連携し加工処理施設の設置は、前向きに取り組む。

(※) 認証ジビエとして流通大手に食肉として出せるようなものと考えている。

(※) ジビエ認証制度 衛生管理基準、食肉としてカットの仕方や、どこでどんな状況で獲れたか等、記録を残すことにより厳しい基準をかせられる制度。



シカの被害にあった木



認証ジビエの衛生的な加工処理施設



児玉 洋一 議員

問 丹沢湖周辺の観光振興で町の活性化を 答 客層を絞り、情報発信を推進していく

令和元年7月26日「広域連携強化による県西地域の活性化」を共通テーマに足柄上地域1市5町の首長と神奈川県知事による懇談会が開催された。

町長はその席で、丹沢湖周辺の三保地域では、施設閉鎖や道路通行止めに加え、人口減少や活力衰退が著しく、町単独では対処が難しい。山梨県へ抜ける広域幹線道路の必要性など、県境を越えた広域連携も含め県に要望している。

丹沢湖周辺の地域振興、観光振興こそ町の活性化につながると思いい質問する。



県道76号線 山北側の行き止まり
県境連携で幹線道路整備計画の推進を

問 三保地域から山梨県へ抜ける幹線道路新設に向け、具体的な整備計画を進めていくべき。

答 技術的な助言も含め、県に支援をいただきながら近隣自治体と連携し、国等へ要望活動を行うなど、長期的な視点で進めていきたい。

問 観光振興のひとつとして、丹沢湖花火大会を観光客の減少する冬季に実施する考えは。

答 観光関係者や地域住民の人的・財政的支援と理解が得られれば、町及び観光協会で、冬季花火大会の開催を検討していきたい。



空気の澄んだ冬の花火大会で、新たな観光振興を



清水 明 議員

問 児童、生徒の居場所の確保がなされているか

答 居場所の確保ははかられている

問 貧困児童・生徒の状況は。

答 平成28年の国民生活基礎調査によると、日本の子どもの貧困率は13.9%であった。町は、子どもの貧困支援として教育の支援、生活の支援、保護者の就労支援、経済的支援等を考えていく。

家庭、学校におけるいじめ、虐待の報道が絶えない。悲惨な死亡事件も数多く発生している。子どもたちをめぐるセーフティネットのほころびが大きくなっている。そこで、子どもたちをめぐるセーフティネットについて質問する。

問 学校における「ケース会議」については。

答 各学校では教育相談コーナーを設け、ダイネーターを中心に支援の必要な児童・生徒について、情報の共有を図るとともに、今後の具体的手立てについて話し合う会議を開催している。



安心して遊べる子どもの環境を

問 教職員の勤務時間の増減は。

答 以前は月に80時間を超えて勤務した教職員が約半数いたが、月80時間を超える残業をしている教職員は約1割に減少している。

「学校」のブラック企業化の進行が懸念され教職員の精神的、肉体的疲弊が教育力の低下を招いているとの指摘もある。学校の働き方改革でどのような変化があったか質問する。

問 残業時間80時間超の教職員に対するカウンセリングの状況は。

答 全教職員を対象に、毎年職業性ストレス簡易調査を実施し、必要に応じて産業医の面談についての案内をするなど、カウンセリングにも取り組んでいる。

問 教職員の働き方改革でどう変わったか

答 残業時間が減ってきた



みんなが帰った教室



熊澤 友子 議員

問 自転車保険への取り組みは

答 加入義務化チラシ等で加入促進に努める

問 町の自転車事故の状況は。

答 今年半年間で、自転車の交通事故は町内で2件発生し、負傷者も1名いる。

自転車は、手軽な乗り物として多くの人に利用されている。近年では歩行中の女性をはねて重傷を負わせた小学生の親に、裁判所が約9500万円の支払いを命じる高額賠償の判決が相次いでいる。県では、本年10月1日より自転車保険の加入を義務付けた。そこで、質問する。



交通安全教室

今年は、4月と7月に選挙が行われ、期日前投票をする方が増えている。

期日前投票は、宣誓書の記入が必要で、投票会場で記入してから投票となる。

問 宣誓書を自宅で記入できるように、投票所入場券に印刷して配布する考えは。

答 他市町村の様式を参考に、今回の選挙から投票所入場券に宣誓書を印刷し、配布することを検討する。

問 選挙投票所入場券の改善を

答 宣誓書の印刷を検討する



安全な乗り方を学ぶ

問 保険加入状況と義務化に向けての取り組みは。

答 保険加入状況は、個人情報のため数値は把握できない。自転車保険加入義務化に向けて、町ホームページや加入義務化チラシを全戸配布し、さらに自転車を利用する未成年者の保護者に、チラシを配布し加入促進に努める。



山崎 政司 議員

問 (仮称)山北スマートインターチェンジ 新設に伴う土地利用について

答 今年度周辺土地利用構想を策定

問 今年度、S I C周辺土地利用構想を策定し、必要に応じて町民に説明する。

答 S I C周辺の土地利用構想について、基本計画や実施計画を町民に説明を。

山北町では半世紀の間に3回の高速道路建設が行われている。今回は、(仮称)山北スマートインターチェンジ(以下、「S I C」とする。)新設に伴う町民の期待も大きいことから質問する。

問 令和元年度からの2年間を推進期間としているが、その後の具体的実施計画及び予算計画は。

答 令和2年度までの2年間を推進期間としていたが、開通目標を令和5年度とする見直しに伴い、実施計画や予算計画を、現在関係機関と再調整している。

問 連結許可後の経過は。

答 平成27年に中日本と基本協定を締結、その後、設計、用地の調査・取得・工事に関する細目協定を締結した。

問 清水やまなみ橋の設計から町の負担が発生しているが、S I C完成までの財政負担は。また、財源は。

答 清水やまなみ橋における町の負担は、設計・建設費約9800万円、S I Cの設計費約8000万円を支出済である。今後の町の負担として1億2000万円を予定しており起債などにより対応する。

問 (旧)清水小・中学校跡地活用について町長はどう考えているか。また、今後の進め方は。

答 S I C周辺土地利用構想と、整合性を図り、地域の意見も聞き、活用方法の検討をする。



河内川横断橋建設インクライン



スマートインターチェンジ周辺の活用を



堀口 恵一 議員

問 新東名完成後の向原地区工事用道路の活用を

答 配置条件の変更等があれば新東名展望 パーキングエリアを検討していきたい

新東名向原工区現場付近は高松山ハイキングコースが通る場所でもあり大変景色が良いところである。ここに展望パーキングがあればと考える。

また、新東名工事用道路北端から北に少し延長すると既存林道に接続でき、高松山地区までの自動車ルートができる。隣接するハイキングコースも並行して整備すれば地区の活性化に役立つと思われる。そこで質問をする。

問 新東名工事用道路を北に少し延長し、高松林道に接続すれば高松集落の環境整備、再生に役立つと考える。

新東名北側から高松林道までの想定道路を示す



想定道路

柳橋を盛り土に変更しパーキングエリアを設置した場合のイメージ



NEXCO 中日本提供 (2018 年時点での完成予想)

問 認定道路として整備する必要がある、このためには莫大な予算が必要になるなど、現時点では、接続道は考えていない。

答 NEXCOに確認したところ、①パーキング・サービスエリアの間隔、②本線との分合流安全

また鳥獣被害が言われる昨今、被害の減少に役立つ可能性もある。同時に並行したハイキングコースの再整備を進めて地域活性化を図ってはと考えるがいかがか。

問 一部(柳橋)を盛り土にすれば上下線にパーキングエリアを作ることは可能と思われる。パーキングエリアを造ってもらえるようNEXCOに申し込んでみるのはいかがでしょうか。

面の懸念、③渋滞助長の懸念、④休息施設の採算性が図れない点で難しいとの事である。町としては、供用後の状況に注視し、配置条件の変更等があれば検討していきたいと考えている。次の新東名3車線化工事も想定されており、それも考慮して検討したいと考えている。



遠藤 和秀 議員

問 東山北1000計画推進に伴う生活道路の整備について

答 通学路の安全対策を重視

平成22年6月に「東山北1000まちづくり基本構想」平成23年3月「東山北まちづくり基本計画」平成26年3月に「山北町第5次総合計画」が策定された。それにより、積極的な企業誘致もされ大型商業施設が開店し計画が推進されている。その反面、それによる交通対策、生活道路の整備も必要性が問われてきている状況である。



町道56号線 松田側から山北側方面

答 通学路における児童・生徒の交通対策は、最優先すべき。今後の計画の見直しをその都度柔軟に考えて、早急に検討していく。

問 向原保育園前の町道56号尺里橋中里線、水上橋入り口約40m付近は、車両がすれ違えない。カーブミラーは設置してあるが見通しも悪くすれ違いできない状況の中、中学生の通学路になっており危険な場所である。第5次総合計画には位置付けはされてないが、早急に見直しをする事ができないか。



河川側の官地

問 ここには、河川側の官地がある。その場所を活用した安全対策ができるのではないか。

答 河川側の官地である堤部分に歩道が実現すると、車両と人の通行を分離することができ、交通環境の整備がなされ、事故の危険性も低下すると思う。河川管理者である県に相談していき、関係機関や近隣住民と調整し検討する。

問 応急対策で歩行者保護のグリーンベルトの設置ができないか。

答 グリーンベルトは視覚的に区別させる効果があり、速度抑制と交通事故防止が期待できる。地域住民の意見や要望、通行実態・道路幅員など総合的に判断して検討する。



和田 成功 議員

問 「D52を活用した元気なまちづくり」について

答 25m軌道を延伸する方向で

48年の長い眠りから復活を遂げた蒸気機関車D52。2017年には、山北町鉄道資料館もオープンした。民間では、D52関連グッズ開発販売・D52軌道延伸の募金活動などいろいろな活動をしている現状がある。そこで、「D52を活用した元気なまちづくり」についてズバツと質問する。

答 設置可能な場所から考えていきたい。

問 鉄道公園や跨道橋などに横断幕を設置し、「唯一動くD52」など山北町をPRしては。



軌道延伸を待っているD5270

問 「唯一動くD52」や山北町鉄道資料館による山北駅周辺の活性化は。

答 今後も山北町商工会や山北商店振興会などと連携して、D52の活用などにより駅周辺の賑わいの創出に努めていきたい。

問 D52軌道延伸計画の現在の進捗状況は。

答 鉄道公園の遊具を移設し、後方へ25m延伸する方向で慎重に検討し、今年度中には、結論を出したい。

問 ふるさと納税型クラウドファンディングの活用を検討されては。

答 延伸計画と歩調を合わせて取り組んでいく。

問 継続的に整備運行を行う為に、運転や整備を担う人材育成に取り組むべきでは。

答 軌道延伸した際は、D52を使って研修し整備運行の担い手の人材育成に、積極的に取り組んでいく。

問 将来的に御殿場線への乗り入れまで視野に入れた調査・研究をしては。

答 まずは軌道延伸を実現させ、山北駅周辺の賑わいづくりや地域振興に繋げていきたい。



貴重な鉄道資料などが展示されている

活きいきひろば

歴史を感じる河村城まつり

河村城址保存会

会長 清水 正己さん



河村城まつりは、河村城の落城により、全国に散った河村氏の累代を供養することを中心に、平成元年に「河村祭」として岸連合自治会が、般若院で行ったのが始まりです。

河村城址保存会が発足し、平成7年以降は会の事業として、4年間は城址で、その後は般若院で実施してきました。

その後、町おこしや観光面にも意を注いでいこうということになり、平成24年から「河村城まつり」として城址で行い、平成25年からはのり上げを、平成30年からは流鏑馬を実施して、祭りの充実を図ってきました。

毎年9月の中旬に実施を予定しており、歴史を感じながら秋の一日を楽しんで過ごしていただく祭りとして、今後も続けていきたいと考えています。



編集後記

「彼岸花」は、道ばたなどに群生し、日本では9月中旬頃赤い花をつけます。その姿は独特で、夏の終わりから秋の初めにかけて、枝も葉もない花茎が地上に突出してきます。すっとした立ち姿、鮮やかな赤い色が各地でさまざまな呼び名を生んでいます。

その「彼岸花」の開花が各地で遅れていると言われています。異常気象が花や生き物たちのスケジュールを狂わせているようでもあります。自然の猛威を改めて知らされた夏でもありました。めまぐるしく変化を続ける今、議員も変化を求められています。議会の存在、あるべき議員の資質の向上。みなさんの声を市政に届けるために、今何を為すべきか。「議会のおと」の行間から読み取っていただけるよう進化を続けます。

(清水 明)

議会の傍聴に おいでください

第4回定例会(予定)

12月4日(水)~

お問い合わせ

庁舎内テレビでも放映しています

議会事務局 75-3653

議会ホームページ

山北町ホームページ

→町議会のアイコンをクリック



広報分科会
会長 山田 陽子
副会長 堀口 恵一
委員 和田 成功
清水 明
児玉 洋一
遠藤 和秀